

# SYS`Nav XL 取扱説明書

syride®

SYS`Nav XL

JP



(株) スポーツオーパカイト

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-24 (TEL) 03-3291-0802

〒315-0101 茨城県石岡市大増 1900 (TEL) 0299-44-3642

## はじめに

Syridersコミュニティへようこそ！

SYS'Nav XLは最新のテクノロジーを搭載したエクストラライト・インストゥルメントです。これを使って、あなたは自分を向上させ、パフォーマンスを追跡することができます。また、ユニークで詳細なオンラインフライトブックもお楽しみいただけます。SYS'Nav XLで、あなたのパラグライダー練習は新たな次元に到達するでしょう！

コミュニティの一員として、私たちのフライト機器の進化と継続的な改善の重要な役割を担うこととなります。

SYS'Nav XLに搭載されている革新的なセンサーは、将来の機能開発を可能にします。

また、お客様の満足度を高めるために、ご提案があれば是非お寄せください。

Syride社は、あなたの美しいフライトを願っています。

- I . SYS PC ツールのセットアップ / 機器の設置
- II . バッテリーの充電 / ステータスバー
- III . メニュー概要
- IV . フライトスクリーン
- V . デバイスの設定
- VI . 詳細設定
- VII . スクリーンとバリオサウンドをカスタマイズ
- VIII . エアースペースの位置
- IX . ナビゲーション
- X . ブルートゥースの機能
- XI . フライトトラックの表示と削除
- XII . 警告およびリセット
- XIII . フライトのアップロード
- XIV . 各種パラメーター
- XV . 使用方法

## 1. SYS PCツールのセットアップ

お使いのコンピューター :

1. SYS PCツールの最新バージョンは、以下のウェブページからダウンロードしてください:

<http://www.syride.com/en/logiciel>

2. 指示に従ってコンピューターにインストールしてください。
3. インストールすると、タスクバーにアイコンが表示されます。  
機器が接続されていることを検知します。
4. ソフトウェアは、お使いのオペレーティングシステム(Windowsのみ)で自動的に起動します。



2

スマートフォンの場合 :

1. スライドアプリの最新版を「Android Playstore」または「Apple AppStore」でインストールしてください。

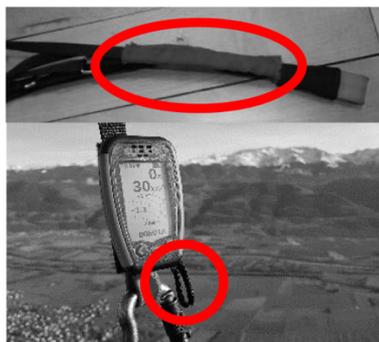
最新バージョンのファームウェアが機器にインストールされていることを確認してください。



3

## 1. 機器の設置

1. シライドはライザーに機器を取り付けることを提案します。  
ベルクロ2本で既存のライザーに取り付けることができます。  
アクセルのロープやプーリーを“ロック”しないように注意してください。
2. ベルクロは、コックピットや大腿部(拡張が必要)、手首に装着することもできます。
3. この機器を設置するにあたり、付属のストラップを使って機器を落下防止の固定をしてください。



ベルクロに関する注意事項：

- SYS'Nav XLIには、“Xlight”ベルクロが装着されています。より軽く、より薄く、計器の総重量を10%節約することができます。とはいえ、従来のベルクロよりも消耗が早くなっています。グリップが弱くなったら、定期的に交換することをお勧めします。  
輸入総代理店のスポーツオーバカイトにてお求めいただけます。

4

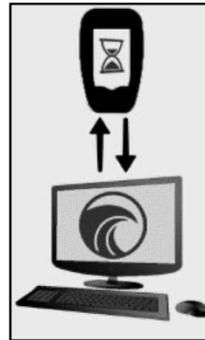
- ベルクロの交換は、ケースを開けない限り、楽器の保証には影響しません。  
誤ってケースを開けないよう、一つずつ交換してください。

- ライザーのみで使用する場合は、ベルクロの向きを逆にし、柔らかい面をライザーに向けることができます。ネジを緩めて、ベルクロの向きを逆にし、再度ネジを締めるだけです。  
ネジ山がねじ切れないように、ネジを締めすぎないように注意してください！  
マジックテープの向きを逆にすると、コックピットに取り付けることができなくなるので注意してください。

5

## II. バッテリーへの充電

1. USB-Cケーブルでコンピュータに接続するだけです。  
赤いLEDがデバイスの充電を示します。  
デバイスが完全に充電されると、LEDが青色に点灯します。
1. 充電のパーセンテージは画面で確認できます。  
充電完了には約2時間必要です。
2. 充電を停止するにはUSBを外します。  
本機にはリチウムイオン電池が搭載されており、メモリー効果はありません。



デバイスの電源を入れ、コンピュータに接続した状態で充電します。

飛行中など、機器を使用しながら充電することができます。トラックの録音が停止しないように、充電ケーブルを接続する際は「チャージャー・モード」を選択する必要があります。

デバイスを起動する際は、バッテリー残量が安定するまで十数秒間待ちます。



6

## II. ステータスバー

GPSの受信状況は、同期している衛星の数で確認できます。：この例では18個受信。  
SYS'Nav XLは新世代のマルチGNSS GPSを搭載しています。これにより、複数のGNSSコンステレーションを同時に捕捉することができます。  
離陸の数分前（プリフライトチェック時）にSYS'Nav XLの電源を入れておくことをお勧めします。

このアイコンでBluetooth接続の状態を確認できます。  
(XII.Bluetooth機能を参照)。

このアイコンは、トラックが保存されているときに表示されます。

音量レベル表示

バッテリー残量表示

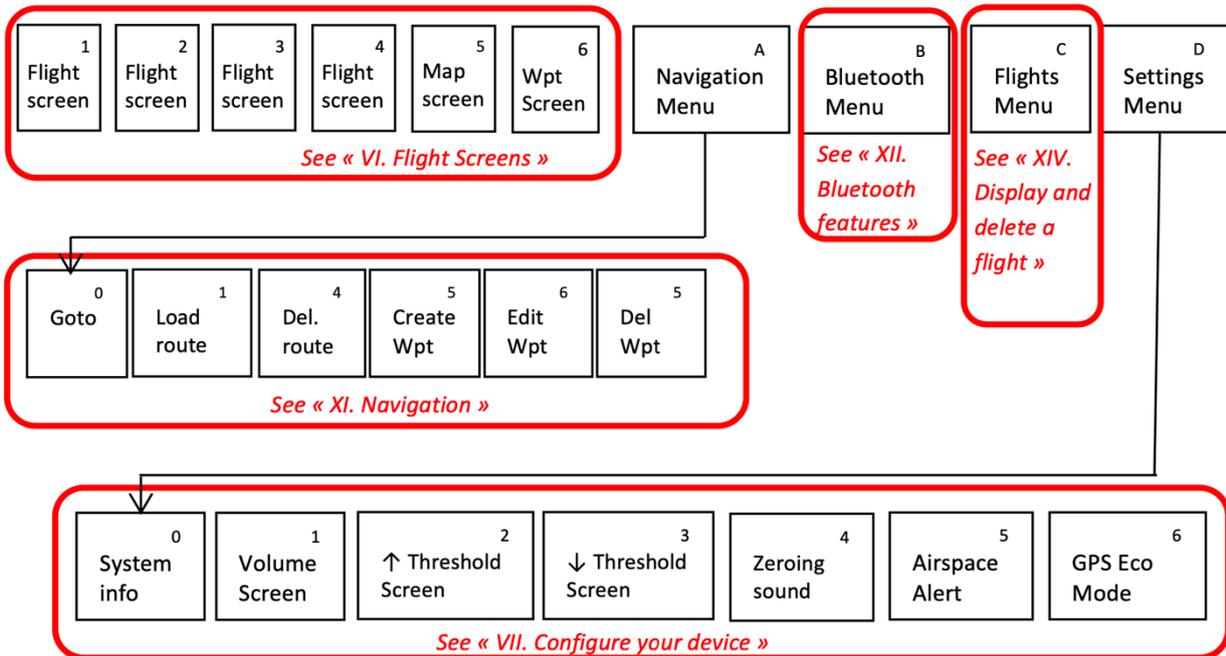
保存開始は自動検出（スピードとバリオ値を使用）または手動（VII.設定を参照）です。  
アイコンの中央にある黒い点は、手動トリガーであることを示します。



スクリーン番号が表示されます。  
フライトスクリーンは1から6まで、メニューはAからEまで。  
(IV.メニュー概要を参照)。

7

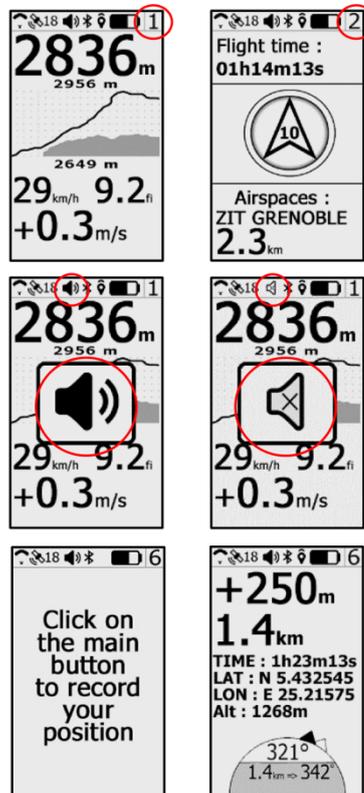
### III. Menus Synoptic



8

### IV. フライトスクリーン

- 画面1～4では、必要なフライト情報を表示することができます。  
GPS信号が十分でない場合は、NO GPSの表示が出ます。
- メインボタンを押すと、バリオの音が OFF/ON になります。  
トランジションやランディングに集中したいときに便利です。
- メインボタンを押すと、自分の位置を記録し、GPS座標(リカバリーに便利!)、距離、高度差、この地点を指してからの経過時間、そしてこの位置に戻るためのルートを表示することができます。  
これはPPGが離陸位置を素早く保存するためにもよく使われます。



9

- 画面#5 (MAP画面) はLCDエリア全体に表示されます。表示されるのは、
- 画面中央の現在位置と方位
  - グレースケールで表示された地形
  - 空域 (もし以前に測定器にアップロードされていれば)
  - 過去10分間のGPSトラック
  - ウェイポイントと最適化されたナビゲーションルート (ルートがロードされている場合)

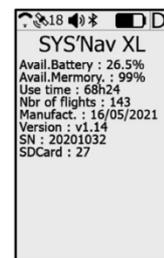
真ん中のボタンを押すと、ズームレベルが変わります。



10

## V. デバイスの設定

1. センターボタンを押すと計器が起動し、メインフライト画面が表示されます。
2. キーボードの矢印で画面Dに移動し、中央のボタンを押す (画面番号が右上に表示される)。
3. 設定メニューの最初の画面では、システム情報を取得することができます。このページで中央のボタンを長押しすると、手動でトラックの録音を開始することができます。
4. 次の画面では、中央のボタンを押して音量を調整できます。



11

5. 次の2つの画面では、バリオの上昇音と下降音のしきい値を設定します。設定は中央のボタンで変更できます。
6. 次の画面では、ゼロイング機能 (Thermal Sniffer) の有効/無効を設定します。上昇禁止 (<0.1m/s)、下降禁止 (>-0.2m/s) ゾーンにいる場合、飛行中にビーブ音が鳴ります。この可聴情報は、サーマルの近くにいること、またはサーマル周期の始まりであることを示します。
7. 次の画面では、可聴および視覚による空域警報を有効または無効にすることができます。
8. 次の画面では、GPSチップの低電力モードをオンにすることができます。測定器の電池寿命は長くなりますが、GPSトラック精度は若干低下します。詳しくは "XVII. 使用上のヒント" を参照してください。
9. 最後のページで中央をクリックすると、メインメニューに戻ります。



12

## VI. 高度な設定

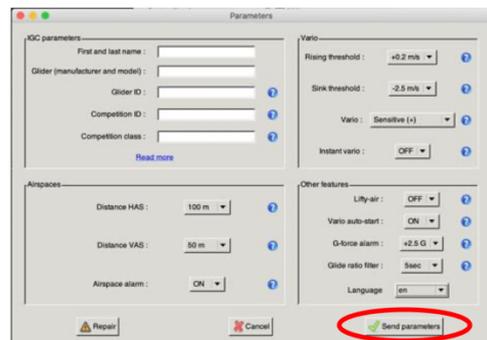
SYS PC ツールでデバイスをコンピュータに接続し、詳細設定ページにアクセスします。

You can :

- 領空侵犯前警告を変更する (HASは領空までの水平距離、VASは領空までの垂直距離)。
- Gメーターに基づくセキュリティアラームの調整。
- インスタントバリオの起動。
- デバイスの言語を変更する。

For this :

- 1) 装置の電源を入れ、コンピュータに接続します。
- 2) SYS PCツールから "configure my instrument" アイコンをクリックします。
- 3) 好きなように変更する。
- 4) Send parametersをクリックします。



13

SYRIDEアプリをダウンロードしたスマートフォンから、ブルートゥースで接続すれば、アプリ上にて機器を設定することもできます。



設定を変更すると、即座に測定器に反映されます。  
SYS`Nav XLの設定が終了したら、ウィンドウ下部の close をクリックします。

14

## VII. 画面とバリオサウンドをカスタマイズ

SYS`Nav XL は、1～4ページの画面とバリオサウンドのフルカスタマイズが可能！  
画面をカスタマイズするには、(チュートリアル：[www.youtube.com/watch?v=D3lfZWIS13M](http://www.youtube.com/watch?v=D3lfZWIS13M))

- 1) まずはこちらへ、[www.syrider.com/en/ssctoo/NavXL](http://www.syrider.com/en/ssctoo/NavXL)
- 2) フォントサイズと単位を指定して項目を選択し、画面にドラッグ&ドロップすることで、画面をカスタマイズできます。
- 3) 設定ファイルをコンピュータにダウンロードします。
- 4) バリオ本体の電源を入れ、コンピュータに接続します。
- 5) SYS`PCツールで“Send a file to my Instrument”アイコンをクリックします。
- 6) 先ほどダウンロードした設定ファイルを選択し、“done”表示が出ればバリオ本体の接続を外します。



ニーズに応じて、複数の画面カスタマイズファイルを自由に作成してください。

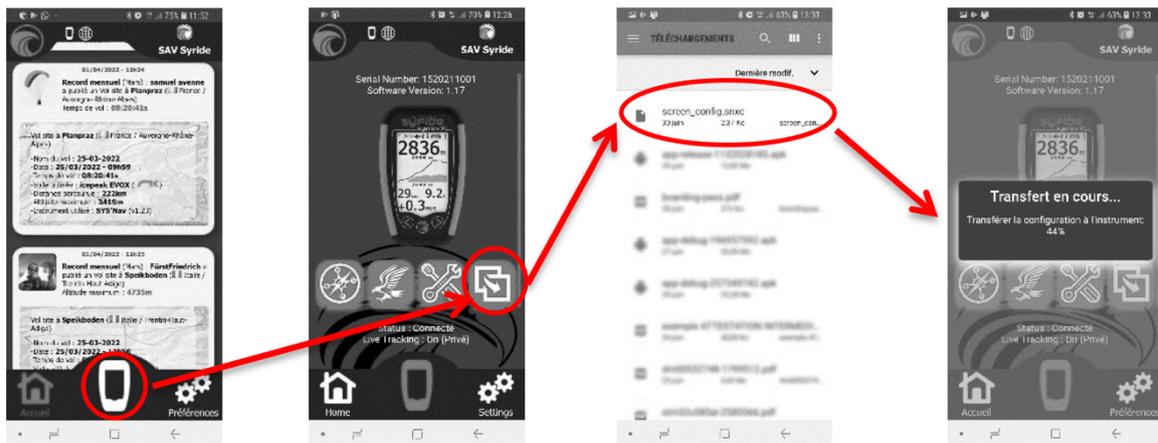
バリオ・サウンドのセットアップも同じ原理です。

<https://www.syrider.com/en/variosetup>。

チュートリアルビデオはこちら：[https://www.youtube.com/watch?v=3w4dxw3T\\_Vk](https://www.youtube.com/watch?v=3w4dxw3T_Vk)

15

ライトファイル(画面設定ファイル、ウェイポイントファイル、ルートファイル...)は、Syrideアプリを使って転送することもできます。



16

## VIII. エアースペースの検索

領空侵犯を避けるために、OpenAirファイル形式の領空データベースを計器にアップロードすることができます。

以下は、エアースペースに関するいくつかのヒントです：

- 空域は定期的に変更されます(月に1回程度)。ですので、お使いのファイルのバージョンを確認し、常に最新の状態に保つことをお勧めします。
- 航空ルールの知識とフライトの準備は、安全のため、そして計器が何を示しているかを簡単に理解するために不可欠です。
- 一時的な禁止区域が存在することがあります。それらはNOTAM(Notice To Airman)やSup AIPで通知され、これらは通常、政府のウェブサイトですぐ入手できます。
- 特にVFR飛行については、国ごとに独自のルールがあります。離陸する前に、現地のルールに注意してください。
- 何千もの空域を処理できる機器であっても、OpenAirファイルを微調整することを強くお勧めします。ファイルの編集は、ローテキストリーダーソフトウェアで行うことができます。OpenAirファイルを微調整することで、測定器の自律性が向上し、MAP画面の読み取りが容易になります。

17

空域を SYS'Nav XL にアップロード / 更新する :

- 1) Webページ → <https://www.syride.com/en/airspace>
- 2) Syrideのオンラインツールは、国別のOpen Air形式の空域データベースを提供しています。国別。必要なファイルをコンピュータにダウンロードします。
- 3) SYS'Nav XL の電源を入れ、パソコンのUSBポートに接続します。
- 4) SYS`PCツールで “send a file to my instrument ” のアイコンをクリックします。
- 5) ダウンロードしたOpenAirファイルを選択します。



エアスペースを見つけるには、2つの選択肢がある :

- － MAP画面には、空域の境界線が表示されます。
- － SSC`Toolには、名前、最寄りの空域までの水平・垂直距離などのインジケータが用意されています。

空域の近くにいることを知らせるサイレンと2つの視覚的な警告がある :



ゾーン(詳細設定のHASとVASの値によって定義される)に近づくと、空域名が上部に白く点滅します。



空域内にいるときは、空域名が上部に黒く点滅します。

## IX. ナビゲーション

ナビゲーション・ルートを作成する最も簡単な方法は、シライド社オンライン《 Route maker 》ツールを使用することです。簡単、迅速、効率的で、数秒でルートを作成することができます。

ルートメーカーを使ってルートを作るには :

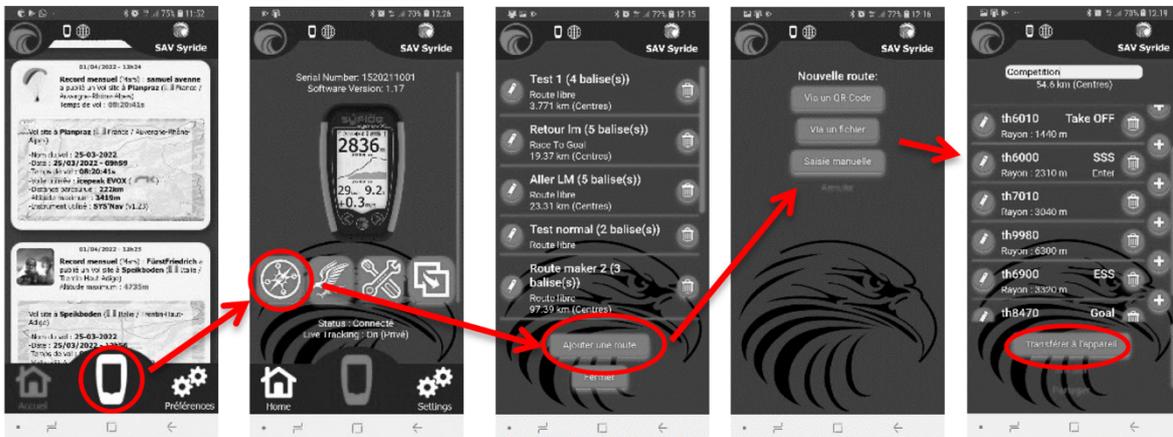
- 1) <http://www.syride.com/en/route> へ。
- 2) 数回のクリックでルートを作成し、コンピュータにダウンロードします。
- 3) SYS'Nav XL の電源を入れ、コンピュータに接続する。
- 4) SYS`PCツールで《 Send a file to my instrument 》アイコンをクリックします。
- 5) 事前にダウンロードしたルートファイルを選択します。



- 6) バリオにルートを表示するには、SYS'Nav XL のナビゲーションメニューから《 Load a route 》を選択します。  
ルートはMAP画面に表示されます。使用したいインジケータ(例:ウェイポイント情報)を画面構成に追加することを考えてください(IX.画面のカスタマイズ参照)。
- 7) ウェイポイントに到達せずにスキップするには、サウンドシグナルが鳴るまで中央のボタンを押します。

## Syrideアプリの使用：

Syrideアプリを使って、ルートを作成または修正することができます。  
いくつかのオプションにより、楽器のルートを送信することができます(手動作成から、QRコードから、ファイルから...)



また、共有機能(ファイルを送信したり、QRコードを表示させたり...)を使えば、計器内のルート  
を他のパイロットと簡単に共有することもできます。

20

## x. ブルートゥース機能

SYS'Nav XL は Bluetooth機器 とのペアリングが可能です。

### ケース 1：

シライドのアプリに接続したい(ライブトラッキング、  
天気予報の受信、自分の軌跡の自動送信...)



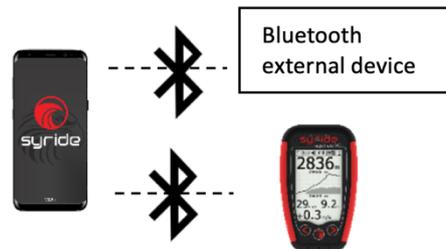
### ケース 2：

SYS'Nav XLセンサーのGPSと気圧データを転送  
するために、サードパーティーのアプリケーション  
(例えばXCTrack)に接続したい。



### ケース 3：

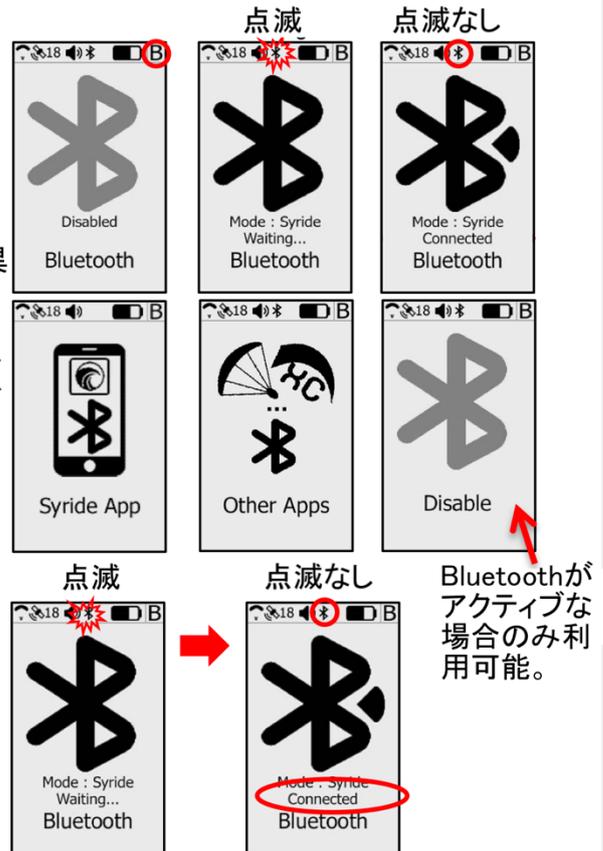
Syrideアプリと、例えば外部ブルートゥースデバイス  
(将来登場予定)と接続したい。



21

計器のペアリング方法はこちら：

1. 測定器のBluetoothメニューに進みます（ページ「B」）。このページでは、Bluetoothが非アクティブか/アクティブだがペアリングされていないか/アクティブでデバイスとペアリングされているかによって、3つの異なるステータスを表示できます。
2. デバイスをペアリングする場合は、中央のボタンをクリックしてBluetoothメニューにアクセスします。使用したいペアリングモード（サードパーティアプリまたはシライドアプリ）を選択し、中央のボタンをクリックします。すでに他の機器とペアリングしている場合は、切断されます。
3. これで SYS`Nav XL をアプリケーションメニューからペアリングする準備が整いました。



22

<p>シライドアプリとの接続</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- PlayStoreまたはAppleStoreからSyrideアプリケーションをダウンロードし、携帯電話にインストールしてください。</li> <li>- アプリケーションを起動し、シライドの認証情報を入力してください(まだお持ちでない場合は登録してください)。</li> <li>- SYS`NavXLを「シライドアプリ」のペアリングモードに設定する(前ページ参照)。</li> <li>- アプリケーションの起動時に「connect my SYS`Nav XL」をクリックします。</li> <li>- 近くにあるBluetoothデバイスのリストで、Sys`Nav XLを選択します。</li> </ul>
<p>XC Trackとの接続</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- SYS`Nav XLでGPSが受信できるようになるまでお待ちください。</li> <li>- SYS`Nav XLを「その他のアプリ」ペアリングモードにする(前ページ参照)。</li> <li>- XCtrackを起動し、アプリ内の「Preferences」に移動します。</li> <li>- 接続とセンサー”を選択し、「外部センサー」をクリックし、「ブルートゥースセンサー」を選択する。</li> <li>- 近くにあるBluetoothデバイスのリストで、Sys`Nav XLを選択します。</li> <li>- SYS`Nav XLのGPSデータを使用するには、「Use external GPS」のチェックをお忘れなく。</li> <li>- SYS`Nav XLで接続が「pending」のままであれば、XCTrackを再起動してください。</li> </ul>
<p>FlySkyHyとの接続</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- SYS`Nav XLでGPSが受信できるようになるまでお待ちください。</li> <li>- SYS`Nav XLを「その他のアプリ」ペアリングモードにする(前ページ参照)。</li> <li>- iPhoneでFlySkyHyアプリケーションを起動し、下から上にドラッグしてアプリケーションメニューを表示します。</li> <li>- 表示されたら、「設定」から、「バリオ」をクリックします。「Other Bluetooth vario」を選択します。</li> <li>- SYS`Nav XLのGPSデータを使用するには、「Use GPS from device」のチェックをお忘れなく。</li> </ul>

23

## ブルートゥース機能について：

- スマートフォンの Bluetooth メニューでペアリングしないでください。  
ペアリングは使用するアプリケーション (Syride App、XCtrack、Flyskyhy...) から行ってください。ペアリングがうまくいかない場合は、携帯電話のBluetoothメニューで SYS' Nav XL がペアリングされていないことを確認してください (ペアリングされている場合は、ペアリングを削除してください)。
- 使用するアプリに必要な権限をすべて付与してください。  
エナジーエコノミーモードなどの対象から除外してください。
- 一部のAndroid携帯でアプリのバックグラウンド実行に問題がある場合は、このページでメーカーOSの動作を回避するための最適な設定をご確認ください：  
<https://dontkillmyapp.com/>
- ペアリングは一度だけ、またはBluetoothモードを変更した後に必要です。  
そうすれば、最後に接続した機器に自動的に接続されます。
- ライブトラッキング、ウェザーレポート、自動フライトアップロードは、測定器がスマートフォンのSyrideアプリに接続されている場合にのみ機能します。また、スマートフォンはSyrideサーバーとデータを交換できなければなりません。
- プライベートライブは、アプリケーションから設定することも、楽器から設定することもできます。  
このリンクはSyride.comサイトの "My account" ページにあります：  
<https://www.syride.com/en/moncompte>

24

- ライブはトラックが録音されているときのみ有効です。フライト中でなくともライブトラッキングを使用するには、強制的に録音してください ("VII. Configure options" を参照)。
- 風のレポートを表示するには、画面を設定し、必要なウェザーステーションアイテムを追加する必要があります ("IX. ディスプレイとバリオのカスタマイズ" を参照)。

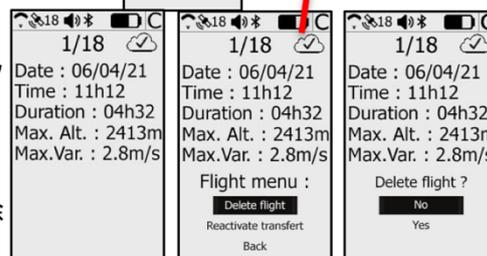
25

## XI. フライトトラックの表示と削除

1. 画面Cで中央のボタンを押すと、計器メモリーのフライトデータを確認したり、トラックを削除したり、フライトを“not transferred yet”(未転送)とマークしたりすることができます。



2. 各フライトトラックはそれぞれのページを持っています。フライトトラックはオンラインフライトブックにアップロードされた後もメモリに保存されます。メモリが一杯になると、最も古いトラックは自動的に削除されます。



3. 中央のメニューをクリックすると、フライトを削除したり、再度アップロードするためにフライトを「アップロードされていません」とマークしたりするメニューが表示されます。

4. 《 Back 》 を押すとフライトページに戻ります。



26

## XII. 警告およびリセット

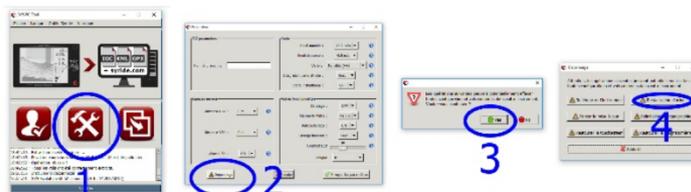


バッテリーが3%未満です。SYS'Nav XLを再充電する必要があります。飛行中、航跡が記録され、自動的に電源が切れます。



機器を強制的に再起動するには、ケースの背面にあるこの目的のための穴にペーパークリップを差し込みます。この操作でメモリや設定が消去されることはありません。機器を強制的に再起動させるだけです。

工場出荷時の状態に戻すには、SYS'PC TOOL (メニューパラメーター / トラブルシューティング / 工場出荷時の状態に戻す) を使用します。計器は完全に新品にリセットされます。すべてのフライトと設定が消去されます。



27

### XIII. フライトのアップロード

2. コンピュータにSYS-PC-Toolソフトウェアがインストールされていることを確認してください。  
(<https://www.syride.com/en/software>)
3. 電源を入れ、USBケーブルで接続します。
4. アカウント設定アイコンをクリックします。
5. IGC/GPXファイルとKMLファイルは、お使いのコンピュータ上に体系的に複製されます。
6. syride.comの高度なフライトアナライザーを使用するには、SyrideアカウントのEメールとパスワードを入力する必要があります。  
(create one on <http://www.syride.com>)
7. 楽器の電源を入れ、USBケーブルをコンピュータに接続します。



28

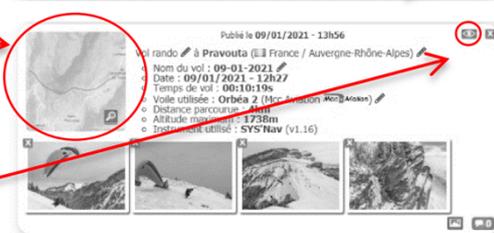
8. “Download recorded flights” アイコンを押すと、フライトが計器からコンピュータとオンラインフライトブックに送信されます。ファイル/ローカルディレクトリを開くをクリックすると、コンピュータ上のファイルにアクセスできます。



9. 赤いペンでフライト情報(例:名前、使用滑空、離陸場所、フライトタイプ)を修正し、緑の矢印で修正内容を確認することができます。また、写真やビデオのリンクをフライトトラックに追加することもできます。

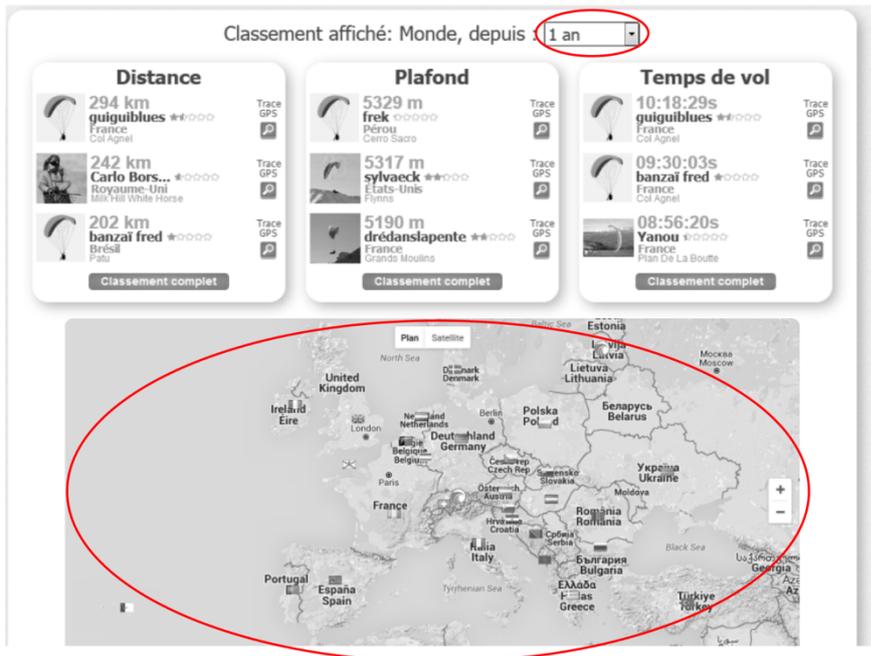


10. トラックを見るには、写真をクリックしてください。
11. 右上の目のアイコンをクリックすると、あなたのフライトをスライドコミュニティから見えなくすることができます。あなたのプロフィールに残りませんが、スライドのユーザーには見えません。



29

12. フライトページでは、時間経過による自分の進化を追跡することができます。また、他のライダーと統計やパフォーマンスを比較することもできます。



30

### Syrideアプリの使用：

フライトのアップロードは、アプリの環境設定で“Send tracks automatically”に“yes”をチェックし、着陸時（およびアップロード中）に楽器と携帯電話がBluetoothで接続されたままであり、その間に適切なネットワークカバレッジがあれば、着陸時に自動的に行われます。

また、アプリから好きなトラックを手動で送信／共有することも可能です：



31

## ブルートゥースでのフライトアップロードについて:

- 他のプラットフォーム (XContest、DHV-XC...) にフライトログがある場合、当社のサーバーは自動的にアップロードすることができます。  
あなたのフライトのコピーをアップロードすることができます。このページでプロフィールを設定してください : <http://www.syride.com/en/moncompte>
- ブルートゥース・ロー・エナジーの転送時間はかなり長くなる可能性があります。手動転送に3分以上かかる場合は、確認のポップアップが表示されます。
- フライト終了時の自動転送は、転送時間が10分未満の場合に計画的に行われます。転送時間がそれ以上かかる場合は、お使いのアプリケーションがスマートフォンのフォアグラウンドに表示されている場合のみ、確認のポップアップが表示されます。アプリケーションがバックグラウンドにあるか、スマートフォンがスタンバイ状態の場合、転送は実行されません。その場合、手動でフライトを送信する必要があります。

32

## XIV. パラメーター

以下は、本器の使用と動作時間を改善するために、本器にあらかじめプログラムされているパラメータのリストです:

- 1分未満のフライトトラックは、SYS PCツールによって自動的に削除されます。
- 飛行中、対地速度もバリオも検出されない場合、計器は自動的に飛行記録を停止します。V章をご参照ください。
- 飛行中でない限り、20分間操作しないと自動的に電源が切れます。
- 時刻と日付は、GPS (GMT時刻の取得) とコンピュータ (タイムゾーンの適用) のおかげで設定されます。時刻を正しく設定するには、デバイスをSYS' PCツールに接続してください。

33

## xv. 使用方法

- テイクオフ前にGPSフィックスを確認するため、ギアの準備中にSYS'Nav XLをオンにすることをお勧めします。
- 飛行中はランヤードを使用して計器を固定してください。
- VHFアンテナからの電磁擾乱はGPS信号を妨害する可能性があります。  
(高度/速度/滑空比...)
- SYS'Nav XL が非常に熱く、非常に冷たい空気の中を飛行すると、スクリーンに霧が発生することがあります。霧は数分で消えます。
- SYS'Nav XLをUSB充電器に接続すると、電源がオフでも充電されます。
- バッテリーの寿命は、使用状況や保管環境によって異なります。長期間充電せずに放置したり、直射日光の当たる車のトランクに放置したりしないでください。
- バッテリーが熱すぎる場合(夏場に日なたに放置した場合)、計器が始動できなくなります。そのため、SYS'Nav XLが冷えるのを待ってから再試行してください。
- 充電は、USB規格に準拠していれば、どんなUSB充電器(コンピューター、スマートフォン充電器、ソーラーパネル...)でも可能です(安価な充電器は避けてください)。

34

### ・ 動作時間と設定:

動作時間は設定に大きく関係します。

以下は、機器の設定による動作時間の見積もり表です:

	With GPS Eco mode		Without GPS Eco mode	
	Sinking sound ON	Sinking sound OFF	Sinking sound ON	Sinking sound OFF
Sound OFF	40h	40h	20h	20h
Volume 1	19h	28h	13h	16h30
Volume 2	13h	21h30	10h	14h
Volume 3	10h	17h30	8h	12h30
Volume 4	8h	15h	6h30	11h
Volume 5	6h30	12h30	5h30	10h
Max olume 6	5h30	11h	5h	9h

ブルートゥースの起動は動作時間にほとんど影響しません。

35

## 注意事項

重要：安全に関するお知らせとご注意

### SYS'GPS使用上の注意事項

SYS'GPSは精密機器ですので、厳しい環境条件に放置しないよう注意してください。定期的に柔らかい布で掃除して、バリオ本体のお手入れをしましょう。  
バリオ本体を開けないでください。ネジは、ユニットの密閉性を保証する一定の程度で締め付けられています。このような行為は、保証を取り消すことになります。  
もし不注意でバリオ本体に水が入った場合は、USBキャッシュを開けて換気し、乾くまで待ってから点灯してください。高温や低温にさらさないでください。置物として日光に当てたり、冷凍庫に入れたりするのは避けてください！南極でのソアリングは保証外です。  
フライトする前は、製品がしっかりと固定されていることを確認してください。フライト中（離陸も含む）の製品の紛失については、シライドは責任を負いかねます。  
シライド社では、パイロットからのフィードバックを重視しています。特に機器の反応に改良点がある場合は、お気軽にお知らせください。

### バッテリー

バリオ本体は、リチウムイオン電池を使用しています。50° C (120° F)を超える温度にさらさないでください。SYSは、機能中に50° C (120° F)以上の温度を検出した場合、警告を発します。火災、爆発、火傷の危険性が出てきます。  
バッテリーから液体が漏れて接触した場合は、水で十分に洗浄し、すぐに医師の診断を受けてください。  
安全上の理由とバッテリーの寿命を延ばすために、充電は周囲温度範囲内で行うことができます。  
温度です：標準的な動作：0° C (32° F) ~ +45° C (113° F) 短期保管：-20° C (-4° F) ~ 60° C (140° F) 保管長期：-20° C (-4° F) ~ 25° C (77° F)。  
電池の交換はできませんので、電池を取り出さないでください。電池に問題がある場合は、Syrideサポートにご連絡ください。



### 電池および電気・電子機器の回収・廃棄に関する注意

このバリオ本体に使用されているリチウムイオン電池および電子回路は、一般家庭ゴミとして破棄せず、各自治体の定めに応じた適切なリサイクルにご協力ください。

付属されているUSBケーブル（規格：5V DC 500mA）以外のもので充電しないでください。

### GPS (Global positioning System)

GPSは、アメリカ合衆国政府が管理する全地球測位システム衛星です。シライドは、GPSの利用可能性や精度について責任を負いません

### CEマーク

このバリオ本体は、ヨーロッパ諸国で必要とされる、住居用、商用、および軽工業用のCEマークの基準に合致しています。

### この取扱説明書について

この取扱説明書の作成には十分に注意していますが、製品の改良に伴う情報の更新が反映されていない場合があります。この取扱説明書の内容は予告なく変更されます。シライド社はこの取扱説明書の内容あるいはその使用に起因する事故、あるいは結果として発生した損害において、この取扱説明書の内容における脱落や技術的、あるいは編集上の誤りに対しても責任を負うものではありません。



www.syride.com



**Sports Opa Kite**

**SINCE 1977**